

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年1学期

係をがんばろう		(1時間)	
ねらい	学級の仕事を友達と協力し合いながら取り組むよさを基に、学級に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級に必要な係について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に必要な係について話し合ったり係活動を行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、3年生の時の係活動について振り返る時間を設定する。	
本時	○学級の仕事を友達と協力し合いながら取り組むよさを知る。 ○学級に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、自分の取り組みたい係を決める。 ○係ごとに話し合い、めあてを決めたり、活動の計画を立てたりする。	○話し合いへの意欲を高められるように、学級の仕事を友達と協力し合いながら取り組むよさについて助言する。 ○係活動にふさわしい係を考えられるように、係の具体的な活動例を紹介したり、これまでの活動経験の発表を促したりする。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇学級に必要な係を発言したり、係活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○めあてや計画に基づいて取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。			

学級活動の計画をつくろう		(1時間)	
ねらい	計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを基に、計画委員会ごとに担当する議題について根拠を明らかにして話し合い、担当する議題を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 担当する議題について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する議題を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する議題について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、3年生の時の計画委員会について振り返る時間を設定する。	
本時	○前期に行う学級活動の内容を知り、活動への見通しをもつ。 ○計画委員会ごとに担当したい題材について根拠を明らかにして話し合う。 ○担当する題材の調整を行い、活動のめあてや役割分担などを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさについて助言する。 ○具体的に題材について考えられるように、前期の生活の流れが分かる資料を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇友達の考えのよさを認めながら担当する議題を選んだり計画を立てたりしている。 <発言・学級活動計画書①②③>
事後	○計画委員会ごとに学級活動計画書を作成する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学級活動計画書を準備する。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年1学期

学級目標に近付こう		(1時間)	
ねらい	学級目標を友達と協力し合いながら達成することのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な行動目標を集団決定するとともに、役割を分担し合い協力して取り組むことによって、学級の生活を向上させる充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級全体で取り組んでいくことについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級全体で取り組んでいくことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級目標に向かって努力している子どもを紹介する。	
本時	○学級目標を友達と協力し合いながら達成することのよさを知る。 ○学級目標のような学級にするために、取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決め、話し合いカードに書く。	○話し合いへの意欲を高められるように、学級目標を友達と協力し合いながら達成することのよさについて助言する。 ○具体的に取り組んでいくことを考えられるように、学級目標を達成している具体的な姿について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	
事後	○学級目標を基に、よりよい学級づくりを実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学級全体で取り組んでいくことは、学級で工夫して掲示できるとよい。			

自まん大会をしよう		(2時間)	
ねらい	友達のよさを知る楽しさを基に、友達のよさを見付ける集会の発表内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合い協力して集会を行うことによって、友達のよさを見付ける楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 友達のよさを見付ける集会の発表内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 友達のよさを見付ける集会の発表内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、友達のよさを見付ける集会の発表内容について話し合ったり自慢大会に参加したりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、クラスの子どもたちの自慢を設定する。	
第1時	○友達のよさを見つける楽しさを知る。 ○自慢大会にふさわしい発表内容について根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、学級全員に知られていない一人一人のよさがあることを助言する。 ○具体的な内容が考えられるように、特技、好きなこと、趣味等を助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	
第2時	○計画を基に楽しく集会をする。 ○集会で見つけた友達のよさを発表し合う。	○友達と仲良く協力できたことや計画通りに集会が進められたことを称賛する。 ○見つけたことを実生活に生かすことができるように、友達のよさを見つけれられた子どもを称賛する。	
事後	○集会で見つけた友達のよさを日常生活に生かし、友達と楽しく生活していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年1学期

係の宣伝をしよう		(1時間)
ねらい	係の活動内容や工夫を紹介し合うよさを基に、自分達の係を宣伝する内容や方法について根拠を明らかにして話し合い、自分たちの係に合った方法を決定するとともに、それぞれの係の特徴を生かした宣伝をして、係活動に取り組む楽しさを味わう。	
評価 規準	(①知・技) 自分達の係を宣伝する方法について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 自分達の係を宣伝する方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、自分達の係を宣伝する方法について話し合ったり宣伝したりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、積極的に係活動に取り組んでいる写真を提示する。
本時	○係の活動内容や工夫を紹介し合うよさを 知る。 ○自分達の係を宣伝する内容や方法について 根拠を明らかにして話し合う。 ○係ごとに宣伝する内容や方法を決め、計画 を立てる。	○問題意識を高められるように、係の活動内容や工夫を紹介し合 うよさを助言する。 ○自分たちに合った宣伝の内容や方法を見付けられるように、係 で頑張っていることや係の特徴を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分のめあてを決められた 子どもを称賛する。
事後	○計画を基に、係の宣伝を楽しく行っていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時 間を設定する。
【備考】 ・係ごとに宣伝を掲示できるとよい。		

◇活動内容の特徴を表すことや、みんなに分かりやすいこと等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 4年1学期

ひとりぼっちはいない		5月(1時間)	
ねらい	いろいろな友達と接することのよさを知り、ひとりぼっちの子がいなくなる方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、交友関係を広げて生活する。		
評価規準	(①知・技) いろいろな友達と接することのよさを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) ひとりぼっちの子がいなくなる方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、ひとりぼっちの子がいなくなる方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、友達とのつきあい方を振り返る時間を設定する。	
本時	○いろいろな友達と接することのよさを知る。 ○休み時間や放課後にひとりぼっちの子がいなくなる方法について根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体や自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、いろいろな友達と接するよさについて助言する。 ○よりよい方法について具体的に話し合えるように、具体的な学校生活の場面に基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。	◇自分に合っていることや、いつでもできること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○いろいろな友達と接し、交友関係を広げる。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

生活の中の交通安全		6月(1時間)	
ねらい	自転車に乗ることによって交通事故の危険が増すことを知り、安全に自転車に乗る方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに一人一人が実行し、交通ルールを守った安全な生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 自転車に乗ることによって交通事故の危険が増すことを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 安全に自転車に乗る方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、安全に自転車に乗る方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、登下校の様子について振り返る時間を設定する。	
本時	○自転車に乗る時の危険性について、歩いている時との比較から発表し合う。 ○安全に自転車に乗る方法について根拠を明らかにして話し合う。 ○安全に自転車に乗るために自分が取り組んでいく方法を決める。	○問題意識を高められるように、自転車に乗る時の危険性に気付けるようなVTR資料を提示する。 ○よりよい自転車の乗り方について具体的に話し合えるように、自転車は事故の加害者になる危険性が増すことを助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の取組を決められた子どもを称賛する。	◇安全に自転車に乗る方法についての自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○交通ルールやマナーを守って安全に自転車に乗る。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学校行事「交通安全教室」(自転車ライセンス講習)として位置付ける。 ・交通安全教室の起案については、学年のフォルダに入っているので確認する。			

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 4年1学期

自分の歯を守ろう(養護教諭とのTT)		6月(1時間)
ねらい	歯の大切さを理解し、自分の歯の健康を保っていく方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、歯を大切にした健康な生活を送る。	
評価 規準	(①知・技) 歯の大切さを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 自分の歯の健康を保っていく方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、自分の歯の健康を保っていく方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、歯科検診の資料を提示する。
本時	○歯の正しい磨き方を知る。 ○自分の歯の健康を保っていく方法について根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、養護教諭により正しい磨き方を提示する。 ○よりよい方法を考えられるように、ものを食べること以外の歯の働き、歯や顎を強くする食品や栄養素等について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の取組を決められた子どもを称賛する。
事後	○自分が決めたことを毎日の生活の中で実行する。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。
【備考】	・養護教諭と連絡を取り合い、指導を進める。授業もTTで行う。 ・感染症による影響等も鑑みた上で実施するか検討する。 ・検診の結果を配付し、染め出しを行えるとよい。	

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 4年1学期

4年生になって		4月(1時間)	
ねらい	めあてをもって生活することのよさを理解し、4年生になって頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって生活することのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)4年生になって頑張っていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、4年生になって頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、「○○の春休み」を提示する。	
本時	○4年生になって新しく変わったことを発表し合い、4年生にふさわしい態度で生活していくことの大切さに気付く。 ○3年生までの成果を踏まえ、1学期に頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、カードに書く。	○問題意識を高められるように、4年生の立場や役割、1学期の活動の概要について助言する。 ○具体的に頑張っていきたいことを考えられるように、具体的な学校生活の場면을基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてを決められた子どもを称賛する。	◇自他の生活を見つめながら、頑張りたいことを発言したりめあてを記述したりしている。<発言・めあてカード①②③>
事後	○めあてに基づいて生活し、実行の様子を振り返る。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードを準備しておく。			

1学期を振り返ろう		7月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技)自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、1学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表)1学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、1学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○1学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○1学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場면을基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	◇1学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。<発言・振り返りカード①②③>
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 4年1学期

夏休みの計画をつくろう		7月(1時間)	
ねらい	めあてをもって夏休みを過ごすことよさを理解し、夏休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい夏休みを送る。		
評価 規準	(①知・技)めあてをもって夏休みを過ごすことよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)夏休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、夏休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、夏休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○2年生の夏休みを振り返ってよくできたことやできなかったことを発表し合い、めあてをもって夏休みを過ごすことよさを知る。 ○夏休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして、話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の夏休み」に書く。	○問題意識を高められるように、2年生の夏休みによくできなかった原因を問いかける。 ○より夏休みにふさわしいめあてについて話し合えるように、夏休みだからこそできることについて助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇夏休みのめあてを根拠を明らかにして発言したり記述したりしている。 <発言・○○の夏休み①②③>
事後	○めあてに基づいて夏休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、夏休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】	・「○○の夏休み」を準備しておく。 ・夏休みの宿題を配付する。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年2学期

係をがんばろう (1時間)		
ねらい	1学期の成果を踏まえ、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさを基に、2学期に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む充実感を味わう。	
評価規準	(①知・技) 2学期に必要な係について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 2学期に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期に必要な係について話し合ったり係活動を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期の係活動のよかったところを伝える。
本時	○話し合いへの意欲を高められるように、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさを助言する。 ○係活動にふさわしい係を考えられるように、これまでの活動経験の発表を促す。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇2学期に必要な係を発言したり、自分から進んで活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○めあてや計画に基づいて係活動に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。		

学級活動の計画をつくろう (1時間)		
ねらい	計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを基に、計画委員会ごとに取り組む議題について根拠を明らかにして話し合い、担当する議題を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。	
評価規準	(①知・技) 担当する議題について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する議題を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する議題について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期の計画委員会のよかったところを伝える。
本時	○話し合いへの意欲を高められるように、計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを助言する。 ○取り組みたい議題が考えられるように、後期に行う議題のおおよその内容がわかる資料を提示する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇担当する議題を選んだり、計画を立てたりしている。 <行動・学級活動計画書①②③>
事後	○計画委員会ごとに学級活動計画書を作成する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・学級活動計画書を準備しておく。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年2学期

運動会に向けて		(1時間)	
ねらい	友達と協力し合いながら運動会に取り組むよさを基に、運動会に向けた学級の取組について根拠を明らかにして話し合い、運動会への取組を集団決定するとともに、協力して取り組むことによって、運動会を全員で頑張った充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 運動会に向けた学級の取組について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 運動会に向けた学級の取組についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、運動会に向けた学級の取組について話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、運動会で参加する種目を伝える。	
本時	○友達と協力し合いながら運動会に取り組むよさを知る。 ○運動会に向けて、めあてや練習内容、方法、役割など、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級のみんなで取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、友達と協力し合いながら運動会に取り組むよさを助言する。 ○学級全員が取り組んでいけるような練習方法や内容について考えられるように、達成可能かどうか助言する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇全員ができる、楽しく充実した運動会にできるの観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したい記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを掲示し、運動会の練習や本番で実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学校行事の全体練習や応援練習などとの関連を図り、適切な時期に行えるとよい。			

教生の先生とのお別れ会をしよう		(2時間)	
ねらい	実習生に感謝の気持ちを伝えるよさを基に、実習生とのお別れ会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して集会を行うことによって、実習生に感謝の気持ちを伝える集会の楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 実習生とのお別れ会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 実習生とのお別れ会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、実習生とのお別れ会の内容について話し合ったりお別れ会に参加したりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、実習生との生活を振り返るよう伝える。	
第1時	○実習生の先生との思い出を发表し合い、感謝の気持ちを伝えるよさを知る。 ○お別れ会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決める	○話し合いへの意欲を高められるように、実習生の立場からお別れ会を行うことのよさについて助言する。 ○具体的な内容を考えられるように、実習生と一緒に楽しめるかどうかにについて助言する。 ○第2時への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇実習生に対して感謝の気持ちを伝えられる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○決定したことを基に、進行案に沿って、楽しくお別れ会をする。 ○集会の様子を振り返り、感想を发表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、実習生に感謝の気持ちを伝えられたことを称賛する。	◇決定したことを基にみんなで協力して、楽しくお別れ会を行っている。 <行動③>
事後	○お別れ会を振り返り、感想を发表し合う。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年2学期

よりよい学級にしよう (1時間)			
ねらい	よりよい学級にすることのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な取組を集団決定するとともに、協力して生活することによって学級生活を向上させる充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級全体で取り組んでいくことについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級全体で取り組んでいくことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級生活を振り返ってよりよくしていきたいことについてのアンケート結果を提示する。	
本時	○よりよい学級にするために取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「よりよい学級にできる」「みんなができる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを基に、よりよい学級づくりを実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】：議題ボックスを準備しておき、そこに寄せられた課題を基に議題を設定してもよい。 ：係活動での課題を基に議題を設定し、次学期の係活動に向けて話し合ってもよい。			

友達クイズ大会をしよう (2時間)			
ねらい	友達のよさを他の友達の紹介から知る楽しさを基に、友達のよさを見付ける集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合い協力して集会を行うことによって、友達のよさを見付ける楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 友達のよさを見付ける集会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 友達のよさを見付ける集会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、友達のよさを見付ける集会の内容について話し合ったり友達クイズ大会に参加したりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、子どもたちのよさを伝える。	
第1時	○友達のよさを他の友達の紹介から知る楽しさを知る。 ○友達のよさを知ることを目的とし、それをクイズにして楽しむ集会の内容や役割分担について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決定する。	○話し合いへの意欲を高められるように、友達のよさを他の友達の紹介から知る楽しさを助言する。 ○全員が参加でき、楽しめるような内容になるように、集会の内容や役割分担について助言する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇友達のよさを見付けられる、みんなができる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
常時	○クイズを考える。	○家庭で考えてくるよう促す。	
第2時	○決定したことを基に楽しく集会をする。 ○集会で知った友達のよさを発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、友達のよさが見付けられたことを称賛する。	◇決定したことを基に、みんなで協力して、楽しく集会を行っている。 <行動③>
事後	○集会で見つけた友達のよさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 4年2学期

元気な体に必要な食事(学校栄養士とのTT)		10月(1時間)	
ねらい	栄養のバランスのとれた食事をする事の大切さを知り、必要な栄養素を含む食事の摂り方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、気持ちよく生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 栄養のバランスのとれた食事をする事の大切さを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 必要な栄養素を含む食事の摂り方についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、必要な栄養素を含む食事の摂り方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○給食の配置の仕方から、食事には主食・主菜・副菜(汁物含む)があることを知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、給食の献立表を見直す時間を設定する。	
本時	○主食・主菜・副菜(汁物含む)に分類されるもの発表し合い、栄養のバランスのとれた食事をする事の大切さを知る。 ○必要な栄養素を含む食事の摂り方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく食べ方を決定する。	○問題意識を高められるように、学校栄養士から一品と一食に含まれる栄養素の違いについて話をしてもらう。 ○必要な栄養素を含む食事の摂り方について話し合えるように、三色の栄養素をすべて含むよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇必要な栄養素を含む食事の摂り方についての自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○三角食べ等、バランスよく食べる方法を実践にする。	○実践への意欲を継続できるように、給食の時間にバランスよく食べている子どもを称賛する。	
【備考】 ・学校栄養士と連絡を取り合い指導を進める。授業もTTで行う。			

北校しゃの安全		11月(1時間)	
ねらい	廊下を静かに歩くことの大切さを理解し、2～4年生が北校舎の廊下を気を付けて歩く方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、けがのない安全な生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 廊下を静かに歩くことの大切さを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 2～4年生が北校舎の廊下を気を付けて歩く方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2～4年生が北校舎の廊下を気を付けて歩く方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、北校舎の廊下を通る子どもたちの様子を振り返る時間を設定する。	
本時	○普段の北校舎の廊下の通り方について気付いたことを発表し合い、廊下を静かに歩くことの大切さを知る。 ○安全な北校舎にするために、取り組んだり、心がけたりしていくことについて根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくことを決定する。	○問題意識を高められるように、北校舎を利用している特別支援学校の子どもや給食室の方、図書司書の先生の気持ちを問いかける。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「4年生としてできる」「続けられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組を考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇2～4年生が北校舎の廊下を気を付けて歩く方法についての自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○自分が決定した方法を実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・4年生として、2・3年生に積極的に働きかけるような実践ができるとうい。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 4年2学期

2学期のめあてをつくろう		8月(1時間)	
ねらい	めあてをもって生活することのよさを理解し、2学期に頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価 規準	(①知・技)めあてをもって生活することのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)2学期に頑張っていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、2学期に頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、「○○の夏休み」を提示する。	
本時	○2学期の学習や生活、行事の概要をつかみ、見通しをもつ。 ○1学期や夏休みについての頑張りから、さらに自分を高める学習や生活のめあてを根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてをカードに書く。	○問題意識を高められるように、1学期のめあてに向かって頑張った子どもの取組を紹介する。 ○具体的なめあてになるように、自分に合った無理のないものになっているか助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。	◇2学期に頑張りたいことを発言したり、めあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活していく。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードを準備しておく。			

清掃場所をぴかぴかにしよう		10月(1時間)	
ねらい	友達が清掃時に頑張っていることを知り、協力してきれいにするために取り組んでいきたいことについて、根拠を明らかにして話し合って自己決定するとともに、継続して実行し、よりみんなで協力できるようになってきたことを実感する。		
評価 規準	(①知・技)友達が清掃時に頑張っていることを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)協力してきれいにするために取り組んでいきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、協力してきれいにするために取り組んでいきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、清掃時の取組みの写真を提示する。	
本時	○友達が清掃時に頑張っていることを発表する。 ○生活経験や学級の実態を根拠として、掃除を協力してきれいにするために、取り組みたいことについて話し合う。 ○自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、頑張っている子どもの取組を紹介する。 ○具体的な取組が考えられるように、普段の清掃中で、協力して取り組みたいことや、声をかけ合って欲しいこと等について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。	◇清掃場所で互いに教え合える、協力して取り組める等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○自分が決めたことを毎日の生活の中で実行していく。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 4年2学期

2学期を振り返ろう		12月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価 規準	(①知・技) 自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、2学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 2学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○2学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○2学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

冬休みの計画をつくろう		12月(1時間)	
ねらい	めあてをもって冬休みを過ごすことのよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい冬休みを送る。		
評価 規準	(①知・技) めあてをもって冬休みを過ごすことのよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 冬休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、冬休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、冬休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○2学期のめあてを振り返り、めあてをもって冬休みを過ごすことのよさを知る。 ○冬休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の冬休み」に記入する。	○問題意識を高められるように、冬休みの過ごし方のよい例や悪い例を紹介する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「冬休み に合っている」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあて を考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	
事後	○計画に基づいて冬休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、冬休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・「○○の冬休み」の紙を用意しておく。 ・冬休みの宿題を配付する。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 4年3学期

係をがんばろう (1時間)		
ねらい	これまでの成果を踏まえ、学級の係活動を見直し、取り組んでいくよさを基に、3学期に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む楽しさを味わう。	
評価規準	(①知・技) 3学期に必要な係について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 3学期に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、3学期に必要な係について話し合ったり係活動を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の課題について自分なりの考えをもてるように、2学期の係活動のよかったところを伝える。
本時	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇3学期に必要な係を発言したり、係の活動の計画を立てたり<発言・ポスター①②③>
事後	○計画に基づいて係活動に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。		

お別れ集会をしよう (2時間)		
ねらい	学級の思い出を振り返ることで一人一人のよさを見付けられる楽しさを基に、友達のよさを見付ける集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合い協力して集会を行うことによって、1年間同じ学級で生活してきたことへの充実感を味わう。	
評価規準	(①知・技) 友達のよさを見付ける集会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 友達のよさを見付ける集会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、友達のよさを見付ける集会の内容について話し合ったりお別れ集会に参加したりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の課題について自分なりの考えをもてるように、学級の思い出を振り返れる写真や感想等を提示する。
第1時	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「一人一人のよさを見付けられる」「みんなができる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、一人一人のがんばりや全員が成長したことを称賛する。	◇決定したことを基に、みんなで協力して、楽しく集会を行っている。 <行動③>
事後	○4年生の残りの期間を大切に生活していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】		

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 4年3学期

委員会活動を知ろう		1月(3時間)	
ねらい	委員会活動見学から委員会活動の意義や活動内容を知り、聞き取り調査の内容や委員会活動に必要な力について根拠を明らかにして話し合い、委員会活動に向けての心構えや抱負を決定するとともに、5年生になって委員会活動を行う意欲を高める。		
評価 規準	(①知・技) 委員会活動の意義や活動内容を知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 聞き取り調査の内容や委員会活動に必要な力についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、聞き取り調査の内容や委員会活動に必要な力について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、学校で行われている委員会の活動を紹介する。	
第1時	○委員会活動の意義や活動内容を知る。 ○聞き取り調査の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○聞き取り調査の内容を集団決定する。	○問題意識を高められるように、委員会は学校全体に関わる仕事であることを伝える。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「よさや大切さがわかる」「活動内容がわかる」「心構えがわかる」等の話合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○委員会活動を見学し、聞き取り調査をする。 ○聞き取り内容をまとめる。	○計画に沿って委員会見学ができるように、マナーを守って時間内に見学するよう助言する。 ○第3時への意欲を高められるように、振り返りカードに気付いたことを記述するよう促す。	◇計画に沿って、委員会活動を見学したり、上級生にインタビューしたりしている。 <行動③>
第3時	○調べたことを基に、学校生活の向上に向けた「委員会活動に必要な力」について、根拠を明らかにして話し合う。 ○「委員会活動に必要な力」を基に、自分がどのようなことに気を付けて生活していくかを決める。	○全委員会の活動の様子をつかめるように、調査結果を印刷して配付する。 ○これからの生活への意欲を高められるように、話合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇委員会活動で実際に調査してきたこと等の観点に沿って、委員会活動を行っていくために必要な力について発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決めたことに基づいて生活していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・児童会活動係と連絡を取り合い、適切な時期に委員会活動の見学を行うようにする。 ・次題材「5年生に向かって」で、明らかになった「委員会活動に必要な力」に向けての自分の取組を決められるようにする。 ・国語科「生活調査隊」の学習と関連付けられるとよい。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 4年3学期

3学期のめあてをつくろう		1月(1時間)	
ねらい	めあてをもって生活することのよさを知り、3学期にがんばっていききたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価 規準	(①知・技)めあてをもって生活することのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)3学期にがんばっていききたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期にがんばっていききたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、「○○の冬休み」を提示する。	
本時	○3学期の学習や生活、行事の概要をつかみ、見通しをもつ。 ○まだ課題として残っていることを基に、3学期にがんばっていききたいことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてをカードに書く。	○問題意識を高められるように、これまでのめあてに向かってがんばった子どもの取組を紹介する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「3学期の学習や生活に合っている」「がんばれば達成できる」等の話合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。	◇3学期にがんばりたいことを発言したり、めあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活していく。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードを準備しておく。			

3学期を振り返ろう		3月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価 規準	(①知・技)自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、3学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表)3学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○3学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○3学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	◇3学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③>
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 4年3学期

春休みの計画をつくろう		3月(1時間)	
ねらい	めあてをもって春休みを過ごすことよさを理解し、春休みになんげりたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい春休みを送る。		
評価 規準	(①知・技)めあてをもって春休みを過ごすことよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)春休みになんげりたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、春休みになんげりたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、サブリーダーとしての心構えを伝える。	
本時	○3年生の春休みで、よくできたことやもう少しがんばれたことを発表し合う。 ○春休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の春休み」に書く。	○問題意識を高められるように、めあての大切さを問いかける。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「5年生の準備になる」「がんばれば達成できる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが決められた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇進んでめあてを発言したり記述したりしている。 <発言・○○の春休み①②③>
事後	○めあてに基づいて春休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学年末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・「○○の春休み」を準備しておく。			